

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」「計算すること」は、欠かすことのできない**生きるための大切な力**です。学校では、この**生きる力**のもととなる基礎学力を高めるために日々取り組んでいます。家庭と連携することで、さらにその力は何倍にも高められます。学校で学んだことを家庭において家庭学習という形で習慣化することで、一層定着し、自信や意欲も増し、**生きる力**を高めることにつながるものと考えています。

この家庭学習の手引きを参考にいただき、低学年から家庭学習の習慣を身につけていきましょう。

家庭が学びの場となるために



その1 基本的な生活習慣を身につけましょう。

早寝早起き・朝食・朝の排便を大切にする。

その2 家庭の学習環境を整えましょう。

決まった場所で、一定の時間、テレビを消して学習に集中する。

その3 学習習慣の定着をめざしましょう。

宿題（基本的な学習）や自主学習の習慣を身に付ける。

（自主学習とは、学習したいことを自分で決め、計画的に行う学習です。）

学年に応じた家庭学習の目標

- 低学年・・・家庭でも勉強するという習慣を身につける。
- 中学年・・・宿題の習慣化と自主学習を少しずつできるようにする。
- 高学年・・・宿題と自主学習をともに習慣化する。

保護者として大切なこと

- 子どもがやり遂げられるように、**声をかけ励ましましょう。**

〈できれば子どものそばに寄り添って〉

- 子どもが学習したことに**できるだけ目を通し、声をかけましょう。**

「よく頑張ったね」「自分から出来たね」「速くなってきたね」「丁寧にしあげたね」等

- 子どもが尋ねてきた時は、**できる範囲で応えてあげましょう。**

※家庭学習でつまずきが見られる場合は、担任にご相談下さい。

（放課後学習【のびのびタイム】もご活用下さい。）